令和7年度 学校マネジメントシート (案)

学校名(三重県立杉の子特別支援学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校
	育みたい資質・ ○自立と社会参画をめざし、主体的に取り組む子ども 能力(育みたい ○自己肯定感と他者を思いやる気持ちを持ち、自他の命を大切にし、人権感覚を 児童生徒の姿) ふれる子ども	
(2)	ありたい 教職員の姿	○多様化、複雑化する社会に対応し、学び続ける姿勢を持った教職員 ○豊かな人権感覚を持ち、子どもの成長を保護者と喜び合える教職員 ○知的障がい教育および肢体不自由教育における高い専門性を有する教職員 ○計画的で柔軟かつ組織的な対応ができ、教育・福祉・医療等関係機関と連携した教育活動に取り組める教職員 ○教育公務員としての責務を自覚し、自らを律することができる教職員

2 現状認識

2 現人認識			
	<児童生徒>		
	様々な体験的な学習や自分自身が活躍できる経験を通して、将来、自分らしく		
	豊かに生活するために必要な力を、楽し	く身に付けたいと望んでいる。	
(1)学校の価値を提供	<保護者>		
する相手とそこか	安全安心な学習環境の維持と児童生徒	ŧ一人ひとりの特性に応じた教育の充実、	
らの要求・期待	卒業後の進路実現を期待する声が多い。		
	<地域・関係機関>		
	鈴鹿亀山地域の特別支援学校として、	地域の特別支援教育の推進に向けたセン	
	ター的機能を充実させてほしい。		
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待	
	<保護者>	<保護者>	
	いじめのない安全安心な学校運営と	規則正しい子どもの生活と子どもの心	
	自立活動の充実、知的障がい教育の小	に寄り添う子育てに協力してほしい。	
	中高の連続性を維持してほしい。		
	<地域の学校>	<地域の学校>	
②連携する相手と連	特別支援教育に係る情報提供や交流	進学に係る情報提供や交流及び共同学	
携するうえでの要	教育を進めてほしい。	習の受入と充実に協力してほしい。	
望・期待	<地域の関係機関(企業・福祉施設等)	<地域の関係機関(企業・福祉施設等)>	
	>	学校の教育活動を理解し、卒業後を見	
	連携・協力するための情報提供をし	据えた連携を継続してほしい。	
	てほしい。	<地域社会>	
	<地域社会>	学校の教育活動を理解し、児童生徒が	
	共生社会の実現に向けて、ともに活	活躍できる場を提供してほしい。	
	動できる機会を提供してほしい。		
	(本校)		
	・セラピストのような専門職を活用した取組は今後とも進めてほしい。		
	・地域協働活動を充実させるためには、学校の取組や地域にしてほしいことを発		
(3)前年度の学校関係	信するとよい。		
者評価など	(分校)		
	12 12 12	こ、学校管理の課題、学校教育の課題に向	
		するとともに、改善に向けた取組を進め	
		, c = = 0, = (

		వ 。
		・石薬師高校生徒会とも連携し、校舎内のルールやマナーを明確にし、両校が一
		体となって課題解決に向け取組を進める。
		〇授業
		・生徒の自立と社会参画に向けた、主体的な学びを実現する授業改善に取り組
		む。
		〇キャリア教育
	111	・双方の子どもが主体的に取り組める交流及び共同学習に取り組む。
	教育活動	・高等部の作業学習において、「つけたい力」を明確にし、教職員の統一した指
		導観を整理し、取組を進める。
		○命を大切にする教育
		・人権教育における技能的側面の習得を強化し、児童生徒の実践行動できる力を
(A) TO 115		育成する。
(4) 現状	22414 √ 2 2 824 √ 4/4	○安全・安心な学校づくり
と		・安全な給食の提供に向けて、教職員の目視も含めた未然防止策に取り組む。
課題		・インクルーシブ教育を推進し、石薬師高等学校と連携した取組を進める。
		○信頼される学校づくり
		・保護者や地域と連携した、組織的対応や支援体制の強化に取り組む。
		・発達障がい支援にかかる教職員研修に取り組むとともに、指導体制の構築を図
	学校運営等	ි
		・教職員のコンプライアンス意識の向上に取り組み、不適切な対応を根絶する。
		○地域協働
		ぬくたいフェスタへの主体的参加を検討する。
		○施設·教職員
		老朽化する施設対応、トイレ不足、教室数の不足、教職員の確保に取り組む。

3 中長期的な重点目標		
	1 確かな学力の育成	
	・学習指導要領に則した教育課程に基づく授業実践に取り組み、教科学習を充実させる。	
	2 自立と社会参画に向けた教育の推進	
	・児童生徒の発達段階に応じ、地域と関わる学習や作業学習、実習や職業体験学習を通し	
	て自己肯定感を高め、キャリア発達を促進させる。	
教育活動	3 命を大切にする教育の充実	
	・人権教育カリキュラムに基づいた人権教育を推進し、自己肯定感を育む教育と児童生徒	
	のつながりを確かなものにする仲間づくりに取り組むとともに、技能的側面を強化した	
	人権学習や葛藤のある人権学習を通して、実践行動力を育成する。	
	・いじめを未然に防止するための児童生徒の主体的な活動の充実に取り組む。	
	・発達段階に応じた性に関する指導、健康教育・食育の充実に取り組む	
	4 いじめや暴力のない学校づくり	
	・児童生徒の人間関係をていねいに見つめ、いじめの認知に努めるとともに、いじめに対	
	して迅速かつ組織的に対応する。	
	・インクルーシブ教育の実現をめざし、石薬師高等学校と連携して取り組む。	
	5 安全安心な学校づくり	
W I I VIII W ##	・バス運行会社と連携し、安全なスクールバス運行に取り組むとともに、自主通学生の通	
学校運営等	学路点検を実施し、児童生徒の登下校の安全の確保に取り組む。	
	・医療的ケアを充実させ、医療的ケア児が安全安心な学校生活を送れるよう取り組む。	
	・給食数増加と食形態の複雑化に対応した安全安心な給食の提供に取り組む。	
	・災害備蓄品の整備や災害本部設置訓練、保護者引渡し訓練に取り組み、災害対策を充実	
	させるとともに、危機管理マニュアルの整備・更新を行う。	
	6 センター的機能の充実	
	・本校・分校コーディネーターによるチーム支援や夏季公開講座等に取り組み、地域の特	

別支援教育を推進する。

・教育相談、就学支援委員会等の機会における情報収集と関係機関と連携した支援体制の 構築に取り組む。

7 地域協働の取組

- 自治会の行事や地域の人権フェスティバル等に参加し、地域啓発に取り組む。
- ・進路渉外担当を中心とした地域との連携を促進し、学校課題の洗い出しに取り組む。
- ・スクールボランティアによる協働体制作りに取り組む。
- ・保護者、地域への情報発信を充実させ、開かれた学校づくりに取り組む。
- 8 信頼される学校づくり
- ・相談体制と家庭支援を強化し、児童生徒保護者の思いに寄り添った指導に取り組む。
- ・教職員の研修の機会を保障し、教職員の専門性の向上をめざす。
- ・「信頼される学校であるための行動計画」に基づき、年間を通じたコンプライアンス研修、風通しの良い職場づくりに取組み、不祥事を根絶する。
- 9 働きやすい職場づくり
- ・管理職がリーダーシップを発揮してワークシェアを推進し、業務の偏りの解消に努める。
- 10 人材の確保と施設の老朽化対策、教室数確保
- ・人材の確保に取り組み教職員の負担軽減を図る。
- ・施設の老朽化、教室数確保に取り組む

4 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」などまた、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。 【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】 「※」 : 定期的に進捗を管理する取組 「◎」 : 最重点取組

項目	取組内容・指標	評価	備考
1 主体的に	(1)教科書を活用し、観点別学習状況の評価に基づく授業		
学ぶ子ども	実践に取り組む。		
の育成	【活動指標】		
	・教科書を活用した授業の公開(教員相互による授業見学と研		
	究協議) 年3回		
	・指導略案を年1回作成して実施		
	(2)令和8年度教育課程、年間計画の見直しを図る。		
	【活動指標】		
	・教育課程検討委員会による見直し		
	(2)地域生活を体験し、児童生徒の自己実現を図る学習を		
	充実させる。		
	【活動指標】		
	・希望する児童生徒の居住地校交流を実施する。		
	・小中学部における地域小中学校との共同及び交流学習に取		
	り組む。		
	【成果指標】		
	・教職員アンケートにおいて「地域小中学校との共同及び交		

	流学習において、お互いのかかわりを深める機会とすること	
	ができたか」80%以上	
	(3) 進路実現に向けて、保護者と連携した取組を推進す	
	వ 。	
	【活動指標】	
	・保護者対象進路相談会を実施する。	
	・進路だよりによる情報発信 年3回以上	
	・キャリア教育プログラムの保護者理解を促進する	
	【成果指標】	
	・保護者アンケートで「学校は児童生徒の進路実現に向けて	
	保護者と連携して取り組んでいる 80%以上	
3 命を大	(1) 児童生徒の発達段階に応じた主体的実践力を育む人権	
切にする教	教育に取り組む。	
育の充実	【活動指標】	
	・人権教育カリキュラムに基づく授業実践 年3回	
	・人権教育だよりを年3回発行	
	【成果指標】	
	・教職員アンケートにおいて、「児童生徒の段階に応じた人	
	権教育の取組ができたか」80%以上	
	(2) いじめや暴力を許さない態度を養う指導を充実させ	
	්	
	【活動指標】	
	・児童生徒会によるいじめを許さない取組 年2回	
	(3)発達段階に応じた性に関する指導、健康教育・食育を	
	充実させる。	
	【活動指標】	
	・自分も他者も大切にする性に関する指導実施 年1回	
	・自ら健康を維持増進する態度を養う健康教育・食育の実施	
	実施 年1回以上	
	【成果指標】	
	・教職員アンケートで、「児童生徒の日常生活に変化が見ら	
	れた」60%以上	
	・児童生徒アンケートで、「健康について楽しく学べた」	
	80%以上	
改善課題		

改善課題

(年度末に記載)

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」などまた、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】 「※」 : 定期的に進捗を管理する取組 「◎」 : 最重点取組

項目	取組内容・指標	評価	備考
4 いじめ	(1) いじめに対する迅速かつ組織的な対応を行い、いじめ		©
や暴力のな	の早期解消に取り組む。		
い学校づく	【活動指標】		
y	・いじめアンケートを年3回実施する。		
	・いじめが疑われる場合は、迅速かつ組織的に対応		
	【成果指標】		
	・いじめ重大事態0件		
5 安全安	(1)登下校の安全安心の確保に取り組む。		
心な学校づ	【活動指標】		
< 0< 0< 0< 0< 0< 0< 0<li< th=""><th>・スクールバス委員会による教職員、添乗員、運転手の連携</th><th></th><th></th></li<>	・スクールバス委員会による教職員、添乗員、運転手の連携		
	強化		
	・令和8年度のスクールバス運行計画の整備		
	・スクールバス添乗員研修の実施		
	【成果指標】		
	・下車後のスクールバスの児童生徒降ろし忘れ0件		
	(2)安全安心な給食の提供に取り組む。		
	・給食献立委員会による給食調理業者との連携		
	必要に応じて		
	【成果指標】		
	・給食への異物混入、食物アレルギー関連事故0件を目指す		
	・食形態の多様化、給食数の増加への対応を行う。		
	(3) 防災教育・防災対策を推進する		
	・防災ノートを活用した防災教育に取組む		
	・実践的避難訓練の実施		
	(地震発生から、避難、救助、消火等、保護者引き渡し)		
	・スクールバス児童生徒引渡し訓練の実施年2回		
	(4) 危機管理体制を充実させる。		
	【活動指標】		
	· 不審者対応訓練の実施 年1回		
	・救命救急法講習会の実施を年1回		
	・アレルギー対応訓練の実施・必要に応じて		
	・てんかん発作時の対応訓練(添乗員)を実施 年1回		
	・医療的ケア児の緊急対応訓練の実施		
	一人につき年1回以上		
	・児童生徒失踪対応訓練の実施・年1回		
	【成果指標】		
	・訓練結果を令和7年度危機管理マニュアルに反映		
	・教職員アンケートにおいて、		
	「不審者対応の仕方がよく分かった」80%以上		
	「救命救急についての理解が深まった80%以上		
6 センタ	(1)本校・分校特別支援教育コーディネーターによるチー		
一的機能の	ム支援を強化する。		
充実	【活動指標】		
	・地域の校・園の教育相談の充実		
	・かがやき特別支援学校と連携した地域支援の充実		
	(2)地域の特別支援教育の推進を図る。		
	【活動指標】		
	・夏季公開講座の開催 年1回		
<u> </u>		I	ı

	肝修の開催 年2回
【成果指標】 . 夏季公開講	室の参加者アンケートにおいて、「特別支援教
	生のを加付プラグードにはいて、「特別文法教」
	研修の参加者アンケートにおいて、「特別支援
	が進んだ」80%以上
7 地域協 (1)地域活 働の取組	助に参加し、特別支援教育の理解啓発を促進す
・ぬくたい	フェスタへのポスタ <i>一参</i> 加
	動活動を推進し、学校活動を充実させる。
【活動指標】	ランニッフに トス 地域切倒活動。 左方向
	ランティアによる地域協働活動 年5回 畳・解体、学習発表会舞台設置・解体、校外学
習)	- MAN
【成果指標】	
	ケートにおいて、「また機会があれば積極的に
	もしくは「また参加してもよい」80%以上 ・地域への情報発信により、開かれた学校づく
りを推進	
【活動指標】	
= ::	D発行 年3回
	ジの更新 月1回以上 版 年3回⇒2回(修正)
【成果指標】	●地 中3回→2回(修正)
	rートにおいて、「学校での学習の様子がよく
わかった	80%以上
8 信頼さ (1)問題行	かへの迅速かつ組織的な対応に取り組む
れる学校づ【活動指標】	
	議を開催し、組織的に対応する。 >====================================
・クトラルミカルネーイ 【成果指標】	会議を開催し、支援体制強化に取り組む。 │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │
・ 保護者アン	アートで、
	夏に対して迅速に対応している」80%以上
	_ やすい雰囲気がある」80%以上
(2) 教職員 【活動指標】	D専門性の向上に取り組む。
	こよる校内支援をとおして教員の専門性向上に
取り組む。	
	を接研修を実施する。
【成果指標】	
	に活かすことができた」80%以上
	交外)年2講座以上の達成率100%
	Dコンプライアンス意識の向上に取り組む。
【活動指標】	
´1 ´´ 十 丁 炒J.1L	#修プログラムの実施 年10回
・コンプライ	#修プログラムの実施 年10回 アンスミーティングの実施 年2回

	・杉の子特別支援学校における不祥事0回	
	·研修満足度 80%以上	
9 働きや		
すい職場づ	し、風通しの良い職場づくり、働きやすい環境づくりに	
くり	取り組む。	
\ 9	【活動指標】	
	・オフサイトミーティングの開催 年1回	
	・教職員満足度調査の実施を年1回	
	「成果指標」	
	・教職員アンケートにおいて、	
	「校務へのやりがい、楽しみを感じている」80%以上	
	「働きやすい環境づくりが進んでいる」80%以上	
	(2) 学校安全衛生委員会による安全安心な職場環境づくり	
	に取り組む。	
	【活動指標】	
	· 学校安全衛生委員会の開催 月1回(年12回)	
	・衛生管理者による職場巡視 週1回(年48回)	
	・産業医による職場巡視 2か月に1回(年6回)	
	(3)会議の効率化と定時対校日の確実な実施に向けて取り	
	組む。	
	【活動指標】	
	・定時対校日の設定 月1日	
	・設定した日の定時退校できた割合 90%以上	
	・ノー会議デーの実施 年25回	
	・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 90%	
	以上	
	【成果指標】	
	・時間外在校等時間が年360時間を超えるのべ職員数0人	
	・時間外在校等時間が月 45 時間を超えるのべ職員数 0 人	
	· 時間外在校等時間 月平均 30 時間以下	
	· 年次休暇取得日数 平均 12 日以上	
10 人材確	(1)人材確保と施設の老朽化対策、教室数確保に取り組む	
保と施設の	【活動指標】	
老朽化対		
策、教室数 確保	・職員による施設に関する意見集約を行う	
改善課題		
以口外区		
5 学校関係者	岩 評価	

5 学校関係者評価

明らかになった	
改善課題と次への	
取組方向	

6 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	
学校運営について の改善策	